

お年寄りに太鼓を披露

室蘭聾学校生が
介護施設「憩」で

室蘭聾学校（高嶋利治郎校長）の子どもたちが30日、室蘭市知利別町の介護老人保健施設「憩」（足永武施設長）を訪れ、太鼓演奏などで入所のお年寄りと交流した。

交流はほぼ毎年この時期に実施している。小学部4年、中学部3年の11人が訪問。最初に高嶋校長が「聴覚障がいのある子どもたちが、練習を重ねて音を合わせられるようになりました。練習の成果を聴いてください」とあいさつした。

子どもたちが一人ずつ自己紹介し、函館市の和太鼓グループ・巴太鼓の曲「プロローグ」を演奏。呼吸を合わせて迫力いっぱい鼓動を響かせた。目を細めて聴いていたお年寄り70人は大きな拍手を送

っていた。

演奏後は子どもたちがお年寄り一人一人と握手。「どうもありが

とう」「頑張つてね」の声に、子どもたちは満面の笑み。涙を見せるお年寄りもいて、和やかな心の交流が繰り広げられた。

（山田晃司）



憩の入所者に太鼓演奏を披露する室蘭聾学校の子どもたち